

令和5年度 第2回福智町地域公共交通会議

日時:令和5年8月25日(金)10時00分～

場所:福智町役場3階 301会議室

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 実証運行利用状況の報告
- (2) 自家用有償旅客運送登録申請
- (3) 本格運行準備状況

3 その他

【配布資料】

- ・令和5年度 第2回福智町地域公共交通会議次第、委員名簿
- ・座席表
- ・資料1:「ふく～るバス」実証運行報告
- ・資料2:自家用有償旅客運送の登録申請について
- ・資料3:本格運行準備状況

令和5年度 福智町地域公共交通会議委員名簿

構成員（第3条）	所属団体・推薦団体	委員職名	委員氏名
町長又はその指名する者	福智町	副町長	会長 竹下 靖
福智町商工会の代表者またはその指名する者（生活弱者分野）	福智町商工会	会長	副会長 池田 昇
一般旅客自動車運送事業者	西鉄バス筑豊株式会社 田川支社	支社長	青木 明生
	田川構内自動車 株式会社	総務部長	長井 智章
一般貸切（乗用）旅客自動車運送事業者	有限会社プラス観光	代表取締役	石山 吏生
鉄道事業者	平成筑豊鉄道株式会社	運輸事業部長	石松 祥宏
住民又は利用者の代表	福智町行政区長会	会長	松山 榮治
	福智町老人会	会長	松尾 重義
	福智町PTA連合会	会長	福嶋 申行
九州運輸局福岡運輸支局長又はその指名する者	九州運輸局福岡運輸支局	支局長	傳 勝博
一般旅客自動車運送事業者の組織する団体	一般社団法人福岡県バス協会	専務理事	中川原 達也
	福岡県筑豊地区タクシー協会（田川構内自動車 株式会社）	会長 （代表取締役）	嘉久 礼子
一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	西鉄グループバス労働組合（福岡県交通運輸産業労働組合協議会）	書記長	熊本 正志
学識経験者	公立大学法人福岡県立大学	人間社会学部 准教授	美谷 薫
町内の道路管理者又はその指名する者	福岡県田川県土整備事務所用地課	管理係長	磯田 靖彦
福岡県田川警察署の代表者又はその指名する者	福岡県田川警察署交通課	交通総務係長	田中 一実
福智町社会福祉協議会の代表者又はその指名する者	福智町社会福祉協議会	事務局長	中野 雅浩
町行政（行政区関係）	福智町	総務課長	長野 士郎
町行政（福祉行政関係）	福智町	高齢障がい福祉課	八代 賢一
町行政（保健行政関係）	福智町	健康子育て支援課	小松 卓美
町行政（教育機関）	福智町立図書館 ふくちのち	館長	井上 憲治
その他町長が認める者	福岡県企画・地域振興部 交通政策課	交通総務係長	田辺 好徳
その他町長が認める者（観光分野）	上野焼協同組合	理事長	高鶴 享一

令和5年度 第2回福智町地域公共交通会議 座席表

令和5年8月25日(金)10時00分～
福智町役場 3階会議室

出入口

出入口

福智町地域公共交通会議		会長		副会長		
		福智町	福智町商工会			
		竹下 靖 副町長	池田 昇 会長			
	○		○			
九州運輸局福岡運輸支局 傳 勝博 支局長 首席運輸企画専門官 (委員代理)辻 美貴善 課長	○		○		○	福岡県筑豊地区タクシー協会 嘉久 礼子 会長
福岡県企画・地域振興部 交通総務係 田辺 好徳 係長 (委員代理)石川 理生 主任主事	○		○		○	田川構内自動車(株) 長井 智章 総務部長
福岡県田川県土整備事務所用地課 磯田 靖彦 管理係長 (委員代理)瓜生 滉志朗	○		○		○	西鉄バス筑豊(株) 田川支社 青木 明生 支社長
福岡県田川警察署交通総務係 田中 一実 係長	○		○		○	㈲プラス観光 石山 吏生 代表取締役
福智町行政区長会 松山 榮治 会長	○		○		○	平成筑豊鉄道(株) 石松 祥宏 運輸事業部長
福智町老人会 松尾 重義 会長	○		○		○	福智町社会福祉協議会 中野 雅浩 事務局長
福智町 総務課 長野 士郎 総務課長	○		○		○	福智町立図書館 ふくちのち 井上 憲治 館長
福智町 健康子育て支援課 小松 卓美 課長	○		○		○	福智町 高齢障がい福祉課 八代 賢一 課長
	○	○	○	○	○	○
	(株)成田光裕	ま ち づ くり 日 永 田 憲 章 主 査	ま ち づ くり 並 川 昌 太 郎 係 長	ま ち づ くり 犬 丸 且 久 課 長 補 佐	ま ち づ くり 木 村 貴 代 美 課 長	(株)川崎謙次 課長
(随席)						

「ふく～るバス」実証運行報告

1. 実証運行概要

実証運行概要	
概要	福智町地域公共交通計画(令和3年6月策定)に基づき、AI オンデマンド導入に向けた段階的な事業ステップの第一段階として、現在の福祉バス運行エリア内でAIによる予約型運行サービスの実証運行を実施
運行期間	第一期:令和5年1月10日(火)～3月31日(金) 第二期:令和5年4月1日(土)～9月30日(土)
運行方式	無償による事前予約型エリア運行
運行時間帯	8:30～17:00(現行の福祉バス運行時間帯に準ずる)
使用車両	14人乗り×1台、10人乗り×1台、7人乗り×1台
予約方法	電話及びweb
AIシステム	未来シェア:SAVS(Smart Access Vehicle Service)
運行エリア	町内全域
現行福祉バス	循環線コースを除く4コースは実証運行期間中も従来通り運行 ※令和5年7月20日(木)から全便運休
乗降箇所	ミーティングポイント方式(福祉バスの既設乗り場及び追加乗り場での乗降のみ)
運行日	毎日運行
運行経路・時間	予約状況に応じて、AIによる最適化ルートで運行
運行者	福智町社会福祉協議会



運行車両



予約受付オペレーター



新規乗場表示の設置



既存表示板の更新

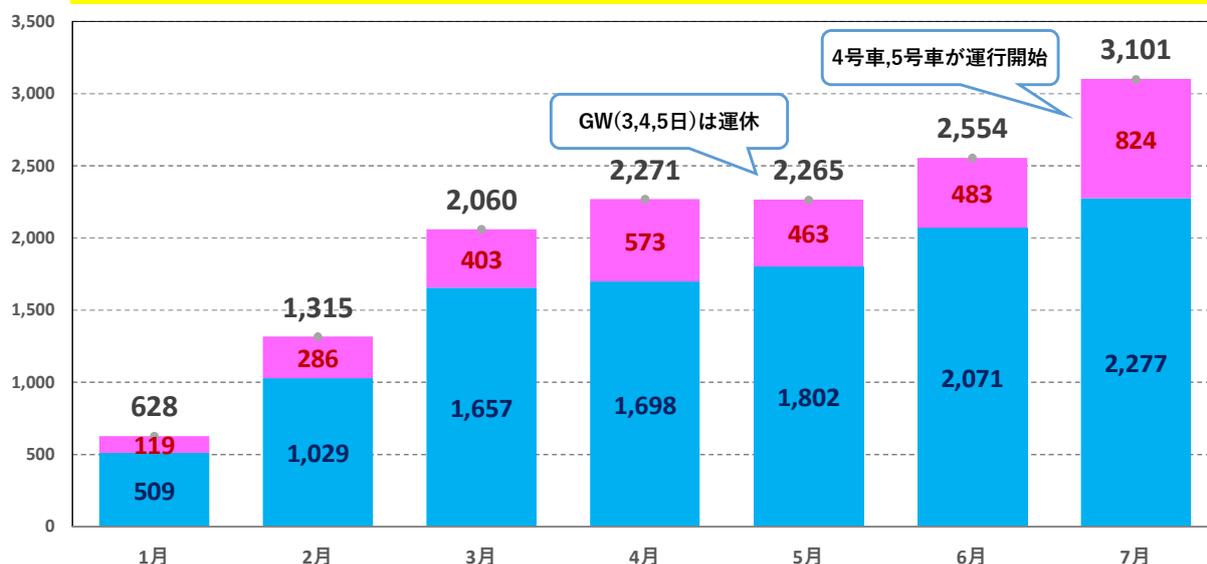
2. 実証運行利用状況 [集計期間]令和5年1月10日(火)～7月30日(日):運行日数 198 日間

(1)ふく～るバスマ月別利用者数

- 1月10日実証運行開始以降7月30日までの約7カ月間で利用者数の累計は約1.4万人。
- 利用者は順調に増加傾向にあり、4月以降は1カ月あたり2,000人超の利用が定着していたが、7月20日からの福祉バス全便運休以降、5台体制による運行開始で7月は3000人を超えた。
- 1日あたりの平均利用者数は、4月以降は80人前後で推移していたが、7月は利用者増加に伴い、110人を超えている。

ふく～るバス利用者数推移 [令和5年1月10日(火)～7月30日(日)]

合計：14,194人(2028人/月) 平日：11,043人(1578人/月) 休日：3,151人(450人/月)



ふく～るバス一日あたり利用者数 [令和5年1月10日(火)～7月30日(日)]

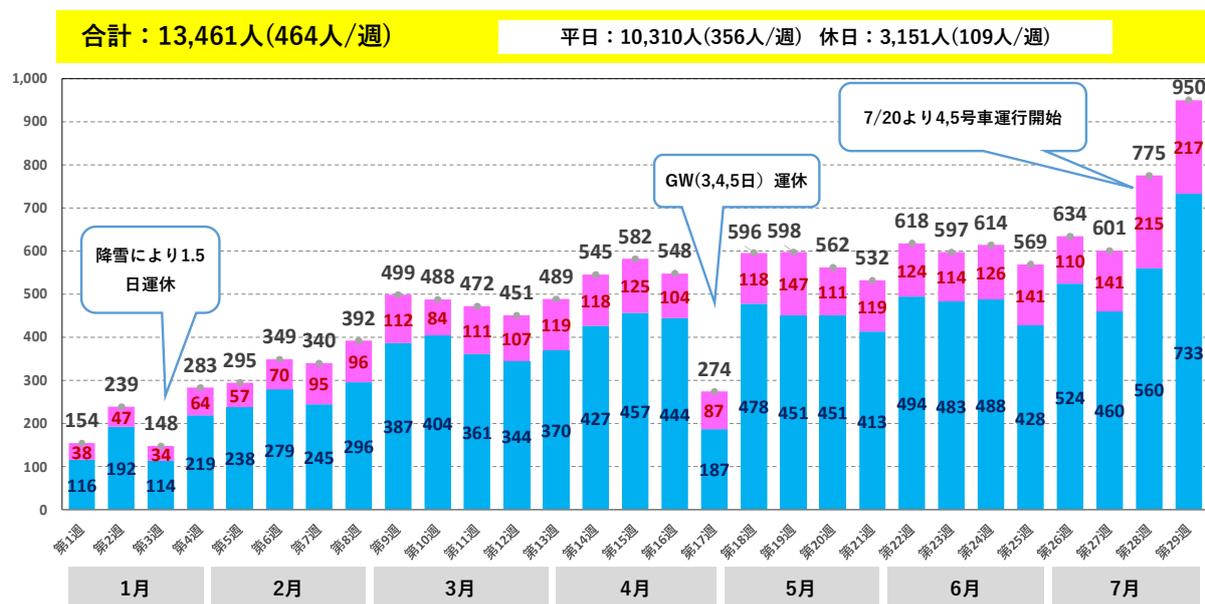
実証運行開始以降の一日あたり平均利用者数 72人/日



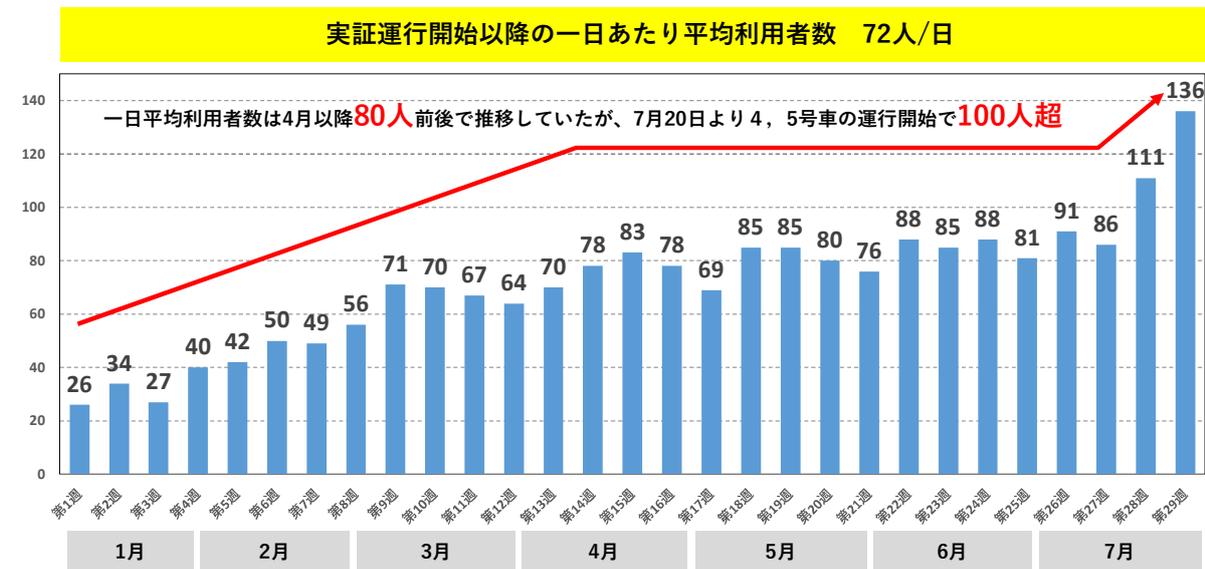
(2)ふく～るバス週別利用者数

- 運行開始から 29 週が経過し、4 月以降は毎週 500 人超で緩やかに増加していたが、7 月 20 日以降の直近 1 週間あたりの利用者数は 900 人を超えている。
- 1 日あたりの平均利用者数は、4 月以降に 80 人前後の利用で推移していたが、7 月 20 日以降の直近では 136 人に達している。
- 1 日あたりの最大利用者数は、4 月～6 月では 115 人程度となっていたが、7 月 27 日(木)に過去最高となる 168 人に達している。土日利用者数も直近で 100 人超の利用があり大幅に増加。
- 8 月速報として、8 月 7 日(月)には 1 日あたり最大利用者数 227 人を更新。

ふく～るバス利用者数推移 [令和5年1月10日(火)～7月30日(日)]

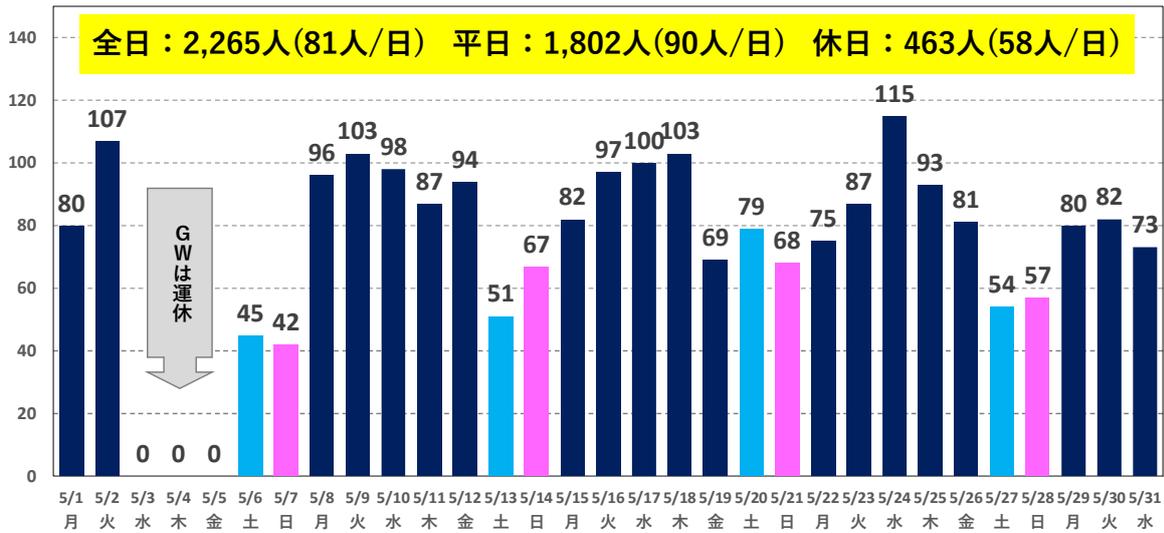


ふく～るバス一日あたり利用者数 [令和5年1月10日(火)～7月30日(日)]

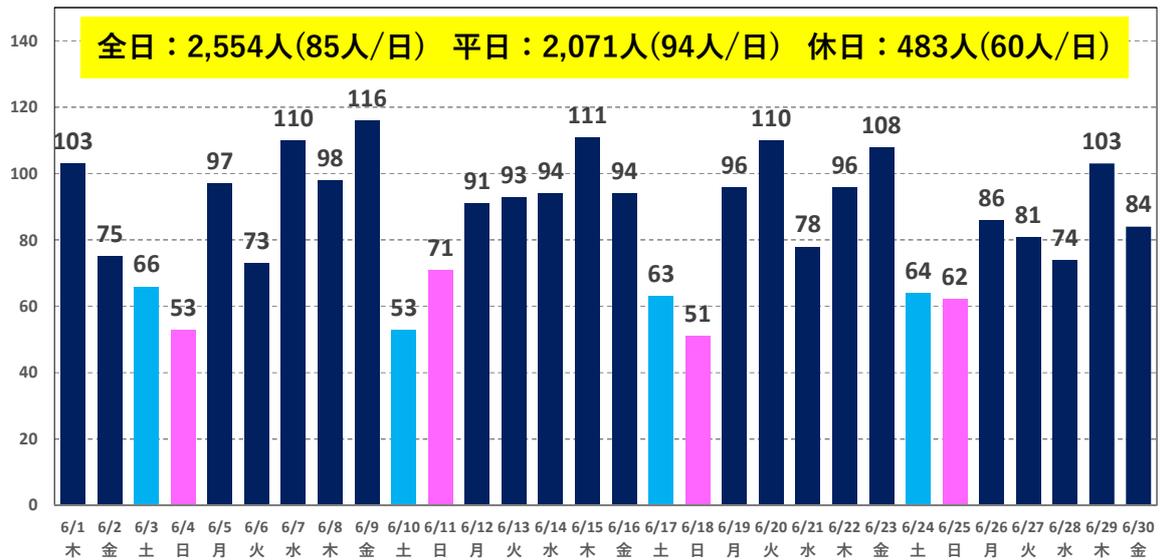


(3)ふく～るバス日別利用者数 ※直近3カ月

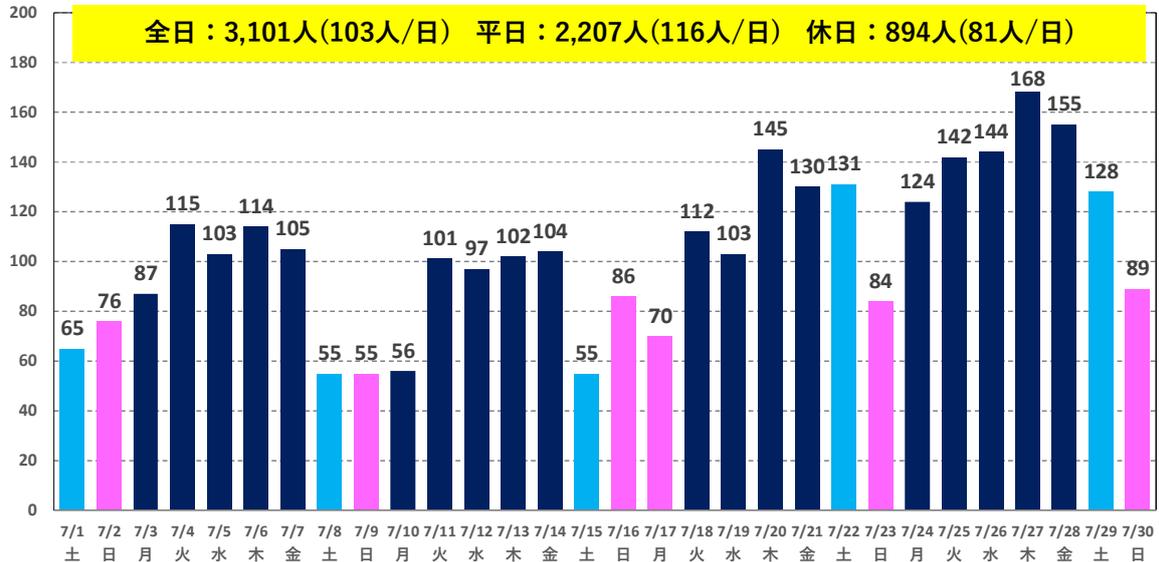
令和5年5月：ふく～るバス利用者数



令和5年6月：ふく～るバス利用者数

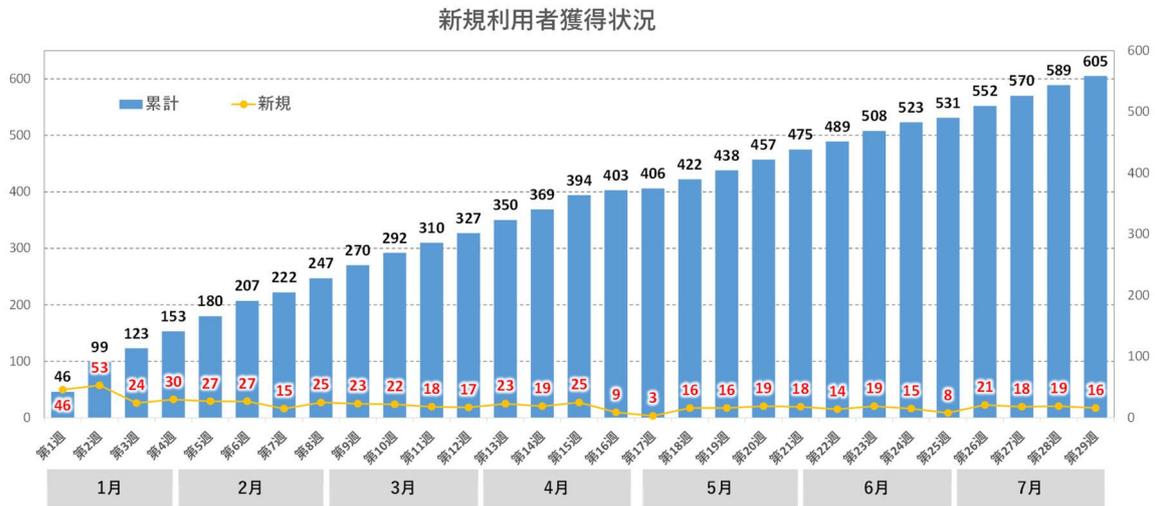


令和5年7月：ふく～るバス利用者数



(4)新規利用者の獲得状況

- 運行開始以降の新規利用者は毎週 20 人前後で推移。現時点での実質利用者は 605 人。
- GW 期間中は運休していたこともあり少なかったが、増加傾向が続いている。

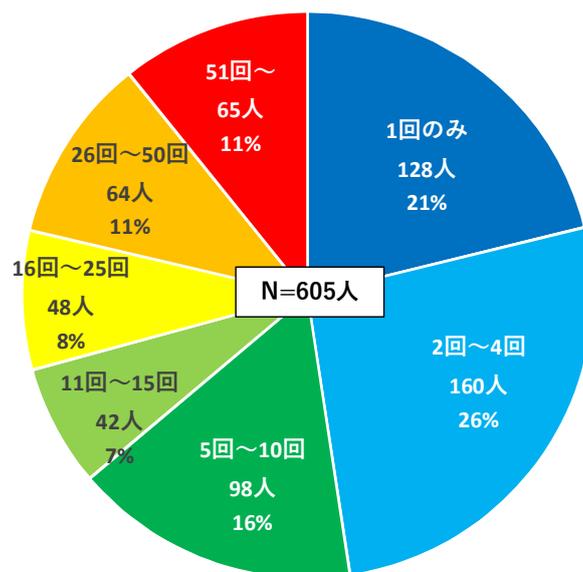


注)新規利用者は予約時のログイン名(主に名前)でのカウント

(5)利用回数別の状況

- 各利用者の利用回数は 2 回～4 回が 26%で最も多く、複数回利用が全体の約 8 割を占める。
- 5 回以上の利用が半数以上を占めており、11 回以上利用しているユーザーも約 4 割で、利用回数が 100 回を超えるヘビーユーザーも 20 名以上みられる。

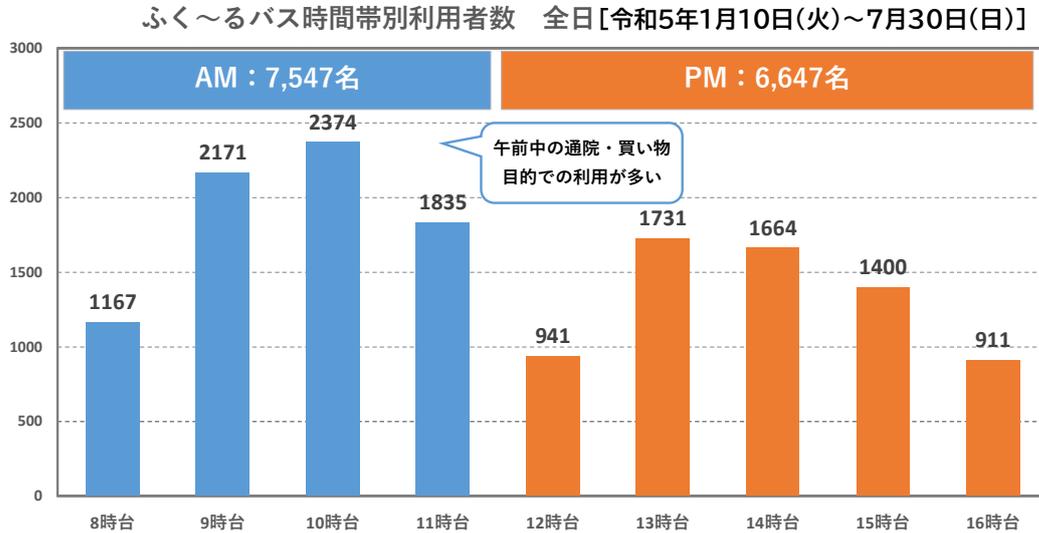
利用者回数別内訳



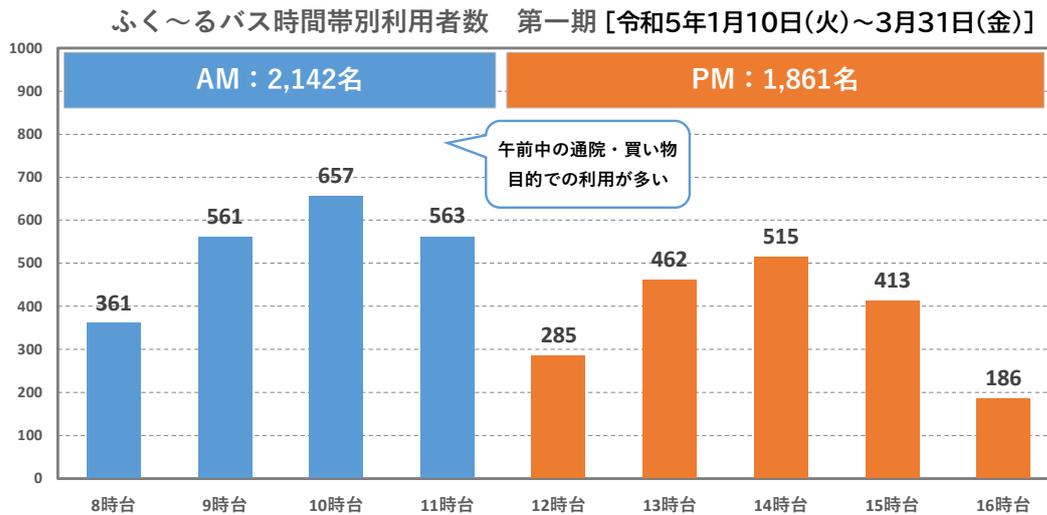
(6)時間帯別利用状況

- 時間帯別利用状況は、午前中の利用が多い傾向で、9 時台～11 時台の利用が最も多い傾向にある。一方で午後は 12 時台は車両休憩で少ないが、13 時～14 時台に利用が多い傾向にある。

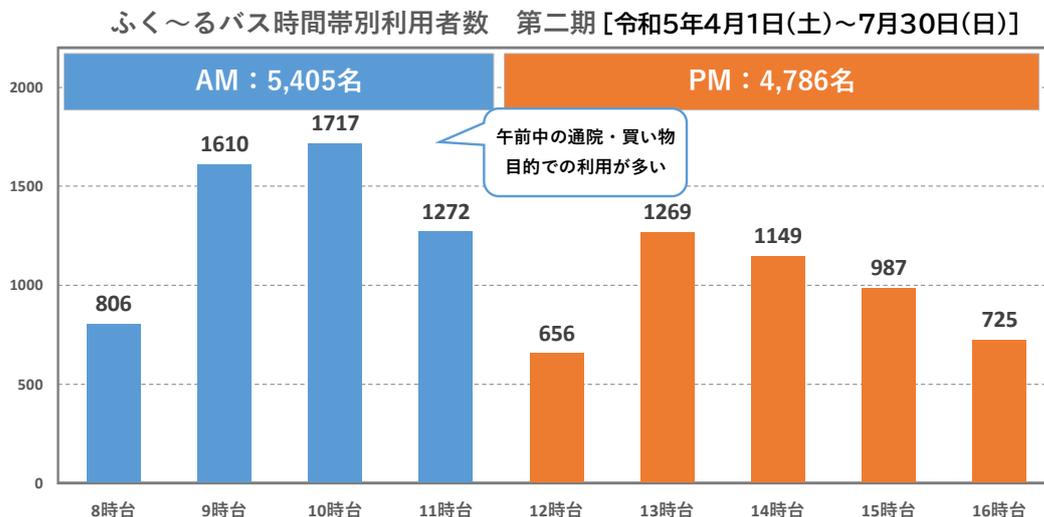
[全日合算]



[第一期実証運行]



[第二期実証運行]



(7)乗降箇所別利用状況

- 乗降地点の上位 30 位の結果として、トライアルでの乗降者数が最も多く、日常の買い物時に利用されている。また、赤池・方城への通院利用、町役場等の公共施設利用、金田駅での鉄道利用、温泉利用など、様々な目的での外出支援への貢献が伺える。

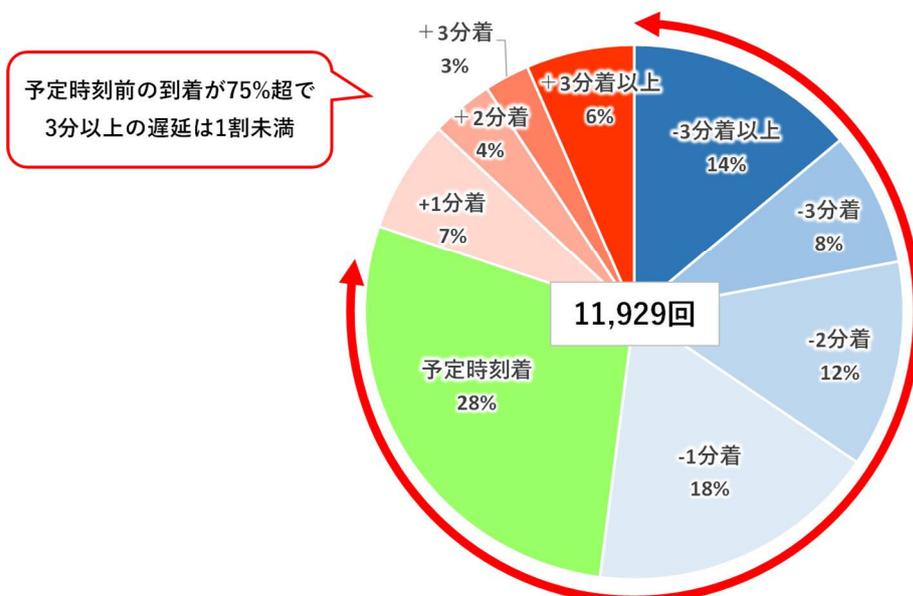
[乗降地点別の利用者数：上位 30 位]

乗車地点	利用者数	RANK	降車地点	利用者数	RANK
トライアル前	1359	1	トライアル前	1336	1
赤池協同医院前	795	2	赤池協同医院前	819	2
金田三区公民館前	640	3	金田三区公民館前	710	3
金田駅前	638	4	金田駅前	529	4
方城診療所	617	5	方城診療所	510	5
人見団地入口	447	6	商工会館前	509	6
商工会館前	399	7	人見団地入口	486	7
人見公民館成竹分館	366	8	日王の湯入口	430	8
福智町役場金田本庁	333	9	県営伏原団地前	343	9
赤池駅前	315	10	福智町役場金田本庁	317	10
日王の湯入口	273	11	赤池駅前	307	11
県営伏原団地前	273	11	人見公民館成竹分館	306	12
福智町役場赤池支所	263	13	福智町役場赤池支所	275	13
ほうじょう温泉	262	14	ドラッグコーエイ田川金田店	260	14
ドラッグコーエイ田川金田店	262	14	シルバーケア金田	225	15
金田社会福祉センター	262	14	ほうじょう温泉	191	16
掘わり	230	17	赤池三区集会所前	189	17
赤池団地	218	18	図書館（ふくちのち）	189	17
図書館（ふくちのち）	185	19	赤池交番前	186	19
薬王寺	178	20	赤池団地	185	20
方城支所停留所	177	21	日吉神社前	178	21
シルバーケア金田	172	22	ニュータウン中央	165	22
赤池交番前	169	23	金田社会福祉センター	158	23
日吉神社前	163	24	興国寺入口	158	23
若草教育集会所前	153	25	中尾（旧赤池商事前）	148	25
赤池11支所集会所	147	26	金田郵便局	141	26
下小路	130	27	地域交流センター・児童館	139	27
ニュータウン中央	129	28	東ヶ丘集会所	137	28
金田郵便局	126	29	下小路	131	29
大黒団地集会所	125	30	薬王寺	131	29
中尾（旧赤池商事前）	125	30			

(8)到着予定時刻との差異

- 予約時に利用者に伝える到着予定時刻と実際の乗車時刻との差は、予定時刻通りの到着割合が約3割と最も多く、3分前後での早着・遅着を加えると約8割が含まれる。
- 一方で3分以上早く到着するケースや3分以上遅れるケースもそれぞれ約1割あるが、5分以上の遅着するケースは全体の7%ほど、10分以上遅着するケースは2%程度となっている。

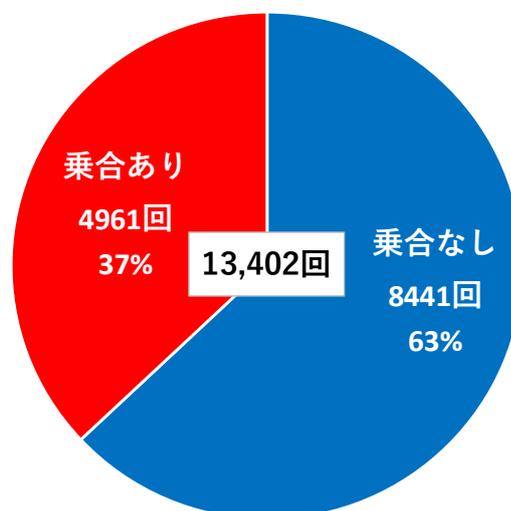
到着予定時刻との差異
[令和5年1月10日(火)～7月30日(日)]



(9)乗合率

- 予約が重なった際に同一車両で乗合となるケースは、全運行回数のうち約3割を越えており、運行開始以降の利用者増加を通じて、乗合率も増加傾向にある。
- 時間帯は利用者が多い午前中での発生が多く、午後も利用が多い14時台で乗合が発生している。

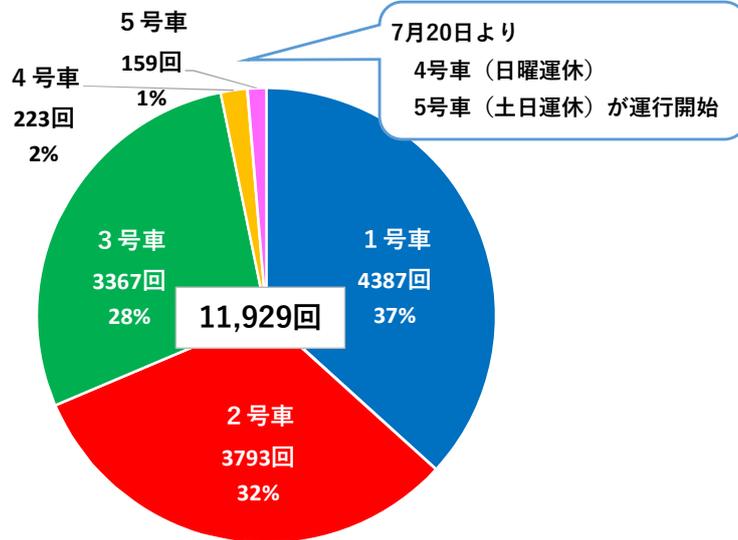
乗合率
[令和5年1月10日(火)～7月30日(日)]



(10)車両運用状況

- 現在は通常3台の車両で運用をしており、予約に応じた配車はAIで自動的に割り振られている。
- 車両別運行回数は、2号車は1月、2月、3月に土日運休しており、3号車は4月以降土日運休しているため、1号車に比べると若干少ない状況にあるが、車両別で偏った運行は見られない。

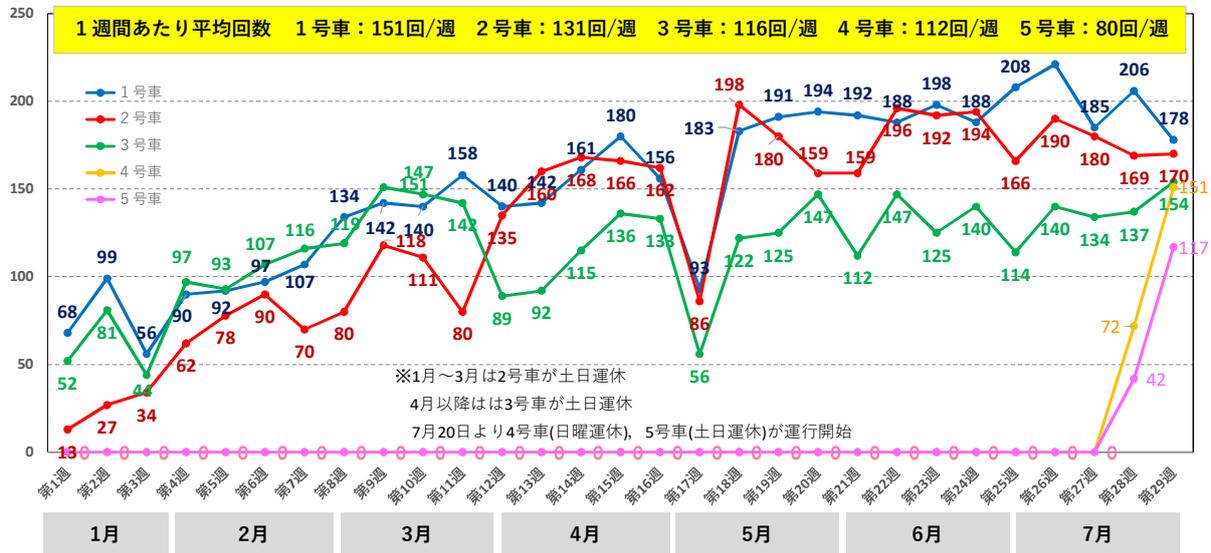
車両別運行割合
[令和5年1月10日(火)~7月30日(日)]



※運行回数のため利用者数合計とは合致しません

1,2,3月は2号車が土日運休、4月以降は3号車が土日運休あり

ふく～るバス車両別運行回数 [令和5年1月10日(火)~7月30日(日)]



自家用有償旅客運送の登録申請について

1. 自家用有償旅客運送登録

- 町内移動を担う「AIオンデマンド交通～ふく～るバス」の本格運行にあたっては、交通事業者の人材不足をふまえたこれまでの「福智町社会福祉協議会」による運行をふまえ、自家用有償旅客運送による運行とする。
- 自家用有償旅客運送は、交通空白地域の移動手段確保を前提に、既存交通事業者の承認が必須の取り組みであり、地域公共交通会議での承認が必要となる。

項目	内容
申請者	福智町
運行開始	令和 5 年 10 月 1 日(日)
運行形態	自家用有償旅客運送(区域運行)
自家用有償旅客運送の種別	交通空白地有償運送
運送の区域	福智町全域(過疎地域)
事業所の名称・位置	福智町役場 福岡県田川郡福智町金田937-2
配置車両	大型(14人乗り):6台、普通:2台(福智町所有車両)
旅客の範囲	地域住民及び当該地域を来訪する者
対価の額	定額制:1回200円 未就学児:無料 小中学生(町内外問わず):100円 町内の障がい者及び65歳以上の方:100円
運行管理体制	安全運転管理者資格を備えるものを選定
整備管理体制	整備管理者の資格を備えるものを選定
運行事業者	社会福祉法人 福智町社会福祉協議会
運転者	福智町社会福祉協議会職員 (1種運転免許保有+交通空白地有償運送等運転者講習受講)

[運行概要]

項目	内容
運行時間帯	8:30～17:00(予約受付:8:30～16:30) ※事前予約は1週間前から
使用車両	コムーター(14人乗り)×6台、ワンボックス(10人乗り)×1台、ワンボックス(7人乗り)×1台
AIシステム	未来シェア:SAVS(Smart Access Vehicle Service)
乗降箇所	ミーティングポイント型(指定箇所での乗降のみ)
運行日	毎日運行 ※GW及び年末年始は運休
運行経路	予約状況に応じて、AIによる最適化ルートで運行

参考:運賃設定根拠

(1)運賃設定の考え方～自家用有償旅客運送ハンドブック(令和2年11月改定)より～

- ・ 旅客から収受する対価については、以下のとおり、基準が設けられている。

①実費の範囲であること

- ・ 旅客の運送に要する燃料費や人件費等の実費の範囲内であると認められること。
- ・ 合理的な方法により定められ、かつ、旅客にとって明確であること

【参考】タクシー運賃の1/2を目安とすることについて

- ・ 区域を定めて行う自家用有償旅客運送の対価は、近隣のタクシー運賃の1/2を目安とすることとされています。
- ・ タクシー運賃の1/2はあくまで「目安」であり、上限を示しているものではありませんので、営利を目的としていると認められない実費の範囲であれば、タクシー運賃の1/2を超えて設定することも可能です。

田川交通圏「小型初乗り運賃：700円」の1/2（350円）を上限目安とする

②運賃設定方法

- ・ 旅客から収受する対価の設定方法は、「距離制(例)1km〇円」「時間制(例)10分〇円」「定額制(例)1回〇円」とする。

今回は運行エリア（町域：42km²、可住地面積：25km²）を考慮し定額制とする

③地域公共交通会議、運営協議会等における協議

- ・ 自家用有償旅客運送において旅客から収受する対価は、地域公共交通会議等において協議が調ったものであることが必要。

運賃設定にあたっては福智町地域公共交通での承諾を得ることとする

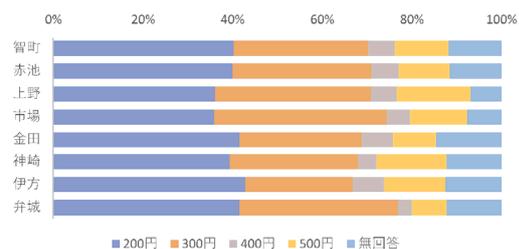
(2)過年度アンケートによる利用者意向

①町民アンケート調査(令和2年2月実施)

- ・ 広報誌折込で全世帯(約7,000世帯)に配布、回収数1,540(回収率22%)。
- ・ デマンド型交通を導入した場合の自己負担額の回答では、全体では「200円」の割合が約4割で最も多く、次いで「300円」が約3割となっている。平均額は全体では288円。

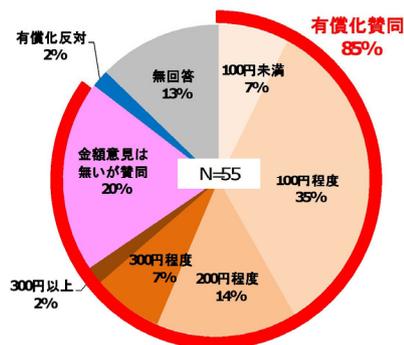
図35 「デマンド型交通」を導入した場合の自己負担運賃

地域	200円	300円	400円	500円	無回答
福智町	614	457	90	184	180
赤池	183	142	28	52	53
上野	57	55	9	26	11
市場	28	30	4	10	6
金田	128	84	21	30	45
神崎	48	35	5	19	15
伊方	116	65	19	37	34
弁城	54	46	4	10	16



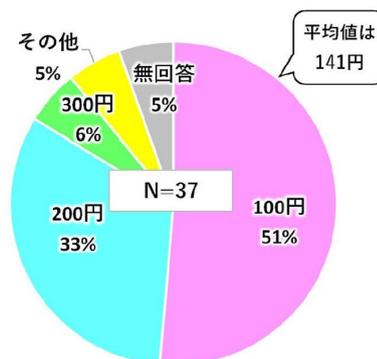
②福祉バス利用者アンケート調査(令和2年11月実施)

- ・福祉バスに調査員が乗り込み直接聞き取りによる調査を実施。回収数 55 票。
- ・福祉バスが有償化となった際の負担額の回答は、全体では「100 円程度」の割合が約 3.5 割で最も多く、負担額を回答した方の平均額は 147 円。



③ふく〜るバス利用者アンケート調査(令和5年2月〜3月実施)

- ・実証運行期間中のふく〜るバス利用者を対象に車内での調査票配布 & 郵送回収による調査を実施。回収数 37 票。
- ・ふく〜るバスが有償化となった際の負担額の回答は、全体では「100 円」の割合が約 5 割で最も多く、負担額を回答した方の平均額は 141 円。



町民意向では約 300 円、福祉バス及びふく〜るバス利用者では約 150 円程度

(3)利用者推計に基づく収支率の比較

①運行経費

- ・運行経費は年間約 3,800 万円(運行委託 約 3,500 万円+システム費 約 300 万円)。

②利用者数

- ・利用者目標値は計画最終年度目標値(令和8年度)で年間5万人。

③運賃設定による収支率の比較

- ・運賃設定による収支率を比較すると、200 円設定で計画目標値を達成見込み。

運行経費	38,000,000円 (年間)
利用者数	50,000人 (計画最終年度)

運賃設定	年間運賃収入	収支率
100円	5,000,000円	13.2%
200円	10,000,000円	26.3%
300円	15,000,000円	39.5%

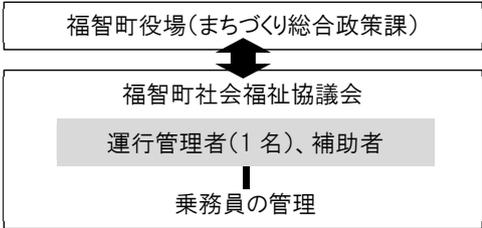
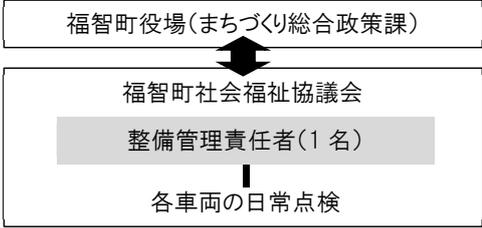
地域公共交通計画に定める
令和8年度収支率目標値25%

4. 運賃設定のまとめ

総合的に勘案し、運賃設定では定額 1 回あたり 200 円が妥当と考えられる

- ※ 運賃については一律 200 円ではなく、高齢者・障がい者向けの割引運賃の導入も想定される。そのため、運賃収入が目標額に届かないことも予想されるが、運行効率化等による経費削減も考慮し、収支率達成を目指すことも必要となる。

本格運行準備状況

項目	内容
広報・周知活動	令和 5 年 9 月より有償本格運行移行について周知開始 ・ふく～るバス車内での掲示 ・西鉄バス車内での掲示 ・広報「ふくち 9 月号」での周知 (本格運行移行及び公共交通利用促進に関する特集記事) ・福智町ホームページでの周知
西鉄バス金田方城線利用者への対応	令和 5 年 9 月に車内乗り込みの上で周知及び要望把握を実施 ・西鉄バス金田方城線のうち、福智町内での乗降者を対象 ・平日一日の全便を対象 ・調査員による直接聞き取りで実施
乗降箇所確認	道路管理者及び交通管理者への確認を実施 ◇道路管理者 ・国道:該当なし ・県道:田川県土整備事務所へ確認 ・町道:福智町建設課へ確認 ◇交通管理者 ・田川警察署と交差点、橋りょう等の不適箇所を確認 ・不適箇所は関係者調整の上で移設予定
AIシステム調整・更新	特に変更予定なし
車両設備の更新	運賃箱及び運賃表を設置予定
従事運転者	◇大型二種免許保有者:2 名 ◇交通空白地有償運送等運転者講習受講者:10 名 (7 月受講済み:7 名、今後受講予定:3 名)
電話予約が困難な方への対応	令和 5 年 7 月に社会福祉協議会で対象者へ聞き取りを実施 ・全 6 名へ確認 ・基本的にご家族や友人の方で予約対応頂けると確認 電話予約の体験も実施
安全管理対策	◇運行管理体制  <pre> graph TD A[福智町役場(まちづくり総合政策課)] <--> B[福智町社会福祉協議会] subgraph B C[運行管理者(1名)、補助者] end C --> D[乗務員の管理] </pre>
	◇整備管理体制  <pre> graph TD A[福智町役場(まちづくり総合政策課)] <--> B[福智町社会福祉協議会] subgraph B C[整備管理責任者(1名)] end C --> D[各車両の日常点検] </pre>